



物流変革を“現場で実装”する

～改正物流効率化法を起点に、DX・AIで描く次世代サプライチェーン～

2026

物流管理 研究部会

 一般財団法人 中部生産性本部

2026年度 物流管理研究部会

趣旨

物流を取り巻く環境は、ドライバー不足やコスト構造の変化、サプライチェーンの不安定化などにより、大きな転換期を迎えています。今後は、物流を単なる業務機能としてではなく、企業活動と社会を支える重要な基盤として捉え直すことが求められます。

持続可能な物流の実現には、部分最適にとどまらない業務プロセスの再設計やデジタル技術の活用に加え、荷主企業と物流事業者が相互理解のもとで協働する姿勢が不可欠です。

本研究部会では、講演と物流現場の視察会を通じて、物流改革を「構想」から「実装」へとつなげる視点を学びます。継続的な交流と意見交換を重ねることで、立場を越えた信頼関係を築き、サプライチェーン全体の最適化と新たな価値創造につながる実践的な知見の共有を図ってまいります。

第1例会

講演会

と き 2026年 6月 25日(木) 15:00~17:30

と ころ ① 会 場 (中部生産性本部 セミナールーム)
② オンライン (Zoom)

テ ー マ **「改正物流効率化法 施行後の実務対応、その先へ」**
～形だけで終わらせないための“次の一手”～

講 師 (株)ローランド・ベルガー パートナー 小野塚 征志 氏

視 点 改正物流効率化法の施行を受け、荷主・物流事業者ではCLO選任や計画策定など、初動対応が一巡しつつあります。一方で、「この対応で実務は回るのか」「現場に定着しているのか」といった課題も見え始めています。本例会では制度の再説明ではなく、施行後の実務対応のその先に焦点を当て、形だけで終わらせず、現場で機能させるために整理すべきポイントと次に取るべき対応を具体的に考えます。

講師を交えた意見交換会 (16:30~17:30) (来場者のみ)

第2例会

講演会

と き 2026年 8月 6日(木) 14:30~17:30

と ころ ① 会 場 (中部生産性本部 セミナールーム)
② オンライン (Zoom)

テ ー マ **「社会インフラ企業に学ぶ DX 実装のリアル」**
～データと現場をつなぐ変革マネジメント～

講 師 (株)TRAILBLAZER 代表取締役 宮崎 祐丞 氏

視 点 DX推進の重要性が叫ばれる一方で、現場との乖離や組織の壁により、実装段階で停滞してしまうケースも少なくありません。JR西日本グループでは、鉄道という社会インフラを支える現場オペレーションを起点に、データ活用による業務改革や新たな事業価値の創出に取り組んでいます。株式会社TRAILBLAZERの取り組みをもとに、リアルな事業・現場の知見とデータを結び付けながらDXを実装していくプロセスや、事業変革につなげていくマネジメントのポイントについてうかがいます。

講師を交えた意見交換会 (16:30~17:30) (来場者のみ)

第3例会

視察会

と き 2026年 9月 29日(火) 14:00~17:00

と ころ トヨタ自動車(株)上郷物流センター

テ ー マ **「働きやすさと生産性の両立」**
～TPSで考える人と自動化の共生～

講 師 トヨタ自動車(株) 海生部品物流部物流技術室室長 薄 充孝 氏

視 点 トヨタ自動車上郷物流センターでは、トヨタ自動車のトヨタ生産方式(TPS)に基づく「働きやすさと生産性の両立」をテーマに、単なる自動化による人の置き換えではなく、人と設備・デジタルが共生する工程づくりの実践に焦点を当てています。生産性向上と働きやすさ向上、付加価値創出を同時に実現するための考え方や具体的な取り組みを踏まえ、現場で機能させるためのポイントや今後の進化の方向性を整理しながら、工程づくりのチャレンジについて具体的な事例をもとにうかがいます。

2026年度 幹事

当研究部会の企画立案・当日運営などの中心的な役割をお務めいただいております。

N G K (株)	資材部ロジ戦略マネージャー	鈴木秀樹氏
西濃運輸(株)	執行役員名古屋エリア統括マネージャー	竹藪次雄氏
(株)デンソー	生産管理部輸出入物流室長	宇佐美大樹氏
トヨタ自動車(株)	物流管理部部長	吉田晃朗氏
ブラザーインターナショナル(株)	グローバルロジスティクス部部长	増田哲次氏
名港海運(株)	執行役員営業第3部部长	鳥居晃好氏

オブザーバー

(組織名五十音順)

中部運輸局	交通政策部環境・物流課 課長	鈴木博行氏
中部経済産業局	産業部流通・サービス産業課長	吉田拓氏

(組織名五十音順)

幹事会

第1回

とき

2026年 9月18日(金)

第2回

とき

2027年 2月18日(木)

第4例会

視察会

とき 2026年 11月19日(木)～11月20日(金)

ところ 宮城地域 ・トヨタ自動車東日本(株)
・仙台港
・西濃運輸(株)仙台支店

テーマ **「震災の経験に学ぶ物流・生産体制の強靱化と事業継続への備え」**

視 点 今後30年以内に南海トラフ地震が発生する可能性が高いと想定される中、企業における震災対応力の強化と事業継続体制(BCP)の確立は、持続的な企業活動を支える重要な課題となっています。東日本大震災から15年を迎える宮城県を訪問し、震災発生時の物流・生産現場における対応や、その後の復旧・復興を通じて構築されてきた取り組みについて理解を深めます。港湾、輸送、製造拠点の視察を通じて、有事においても社会・産業基盤を支える物流機能のあり方を学ぶとともに、今後企業に求められる実効性ある備えについて考えます。

第5例会

視察会

とき 2027年 1月19日(火) 13:00～17:00

ところ 中部国際空港 ・中部国際空港(株)
・(株)ドリームスカイ名古屋

テーマ **「中部国際空港に見る航空物流の最前線」**

～グローバルサプライチェーンを支える空港機能と現場力～

講 師 中部国際空港(株) 営業推進本部 航空営業部 部長 金室紀子氏
(株)ドリームスカイ名古屋 エアカーゴサービス部部长 加納義春氏
エアカーゴサービス部副部长 藤島功一郎氏

視 点 中部地域のものづくりを世界へつなぐ物流拠点、中部国際空港。国際拠点空港としての役割を踏まえ、航空貨物の取扱機能や輸出入オペレーションの全体像を捉えます。さらには、ドリームスカイ名古屋の現場において、国内外貨物の取り扱いを支える安全・品質・定時性の確保と、それを実現する現場力や改善の取り組みに焦点を当てます。航空物流の最前線を通じて、グローバルサプライチェーンを支える実態について学びます。

第6例会

視察会

とき 2027年 2月頃 (未定)

ところ 依頼中

※なお、講師等の都合により、若干の日程変更となる可能性があります。また、各例会の詳細は、開催の約1ヶ月前にご案内いたします。

本研究部会では、海外の先進物流事例を学ぶ機会として、下記の通り物流海外視察団の実施を予定しております。

日 程	2026年 7月12日(日)～19日(日)
訪問国	ベトナム・シンガポール・マレーシア
テーマ	「つながる物流、広がる未来～ASEANから学ぶ次世代戦略～」
参加費	約85万円(エコノミークラス利用)

申し込み方法

中部生産性本部ホームページよりお申し込みください。

<https://www.cpc.or.jp/cpc/pages/335/>

中部生産性本部

検索

申し込みページ



※ 昨年度登録されている場合、別途ご案内いたします。

開催要領

と き 2026年6月25日(木)～2027年2月18日(木) (年間6回)

参加方法

本研究会は回ごとに参加方法が異なります。

- ・講演会(第1例会・第2例会)会場参加／オンライン参加(Zoom)(選択制)
- ・視察会(第3例会～第6例会)現地参加のみ(オンライン配信はございません)

年間登録費

一般財団法人中部生産性本部 会員企業 …… 93,500円 } 1組織2名登録
一 般 企 業 …… 137,500円 } 資料代・消費税含む。

- ① 年間登録費につきましては、請求書に記載の振込み期日までにお振込み願います。
なお、振込手数料については、お客様にてご負担願います。
- ② キャンセルは6月18日(木)までをお願いいたします。
6月18日(木)以降は登録費の払戻しをいたしかねますのでご了承ください。

対 象

物流部門責任者及び担当者

申込締切日

2026年6月18日(木)

運営方法

- ① 各例会はご登録組織におけるメンバー制にて運営いたします。
- ② 各例会の詳細は、開催の約1ヶ月前にEメールでご案内いたします。
- ③ 各例会への出席は2名まで可能です。(代理出席可)
- ④ 録画の配信は許可いただいた講演のみ、後日登録者の方にご案内いたします。(期間限定)
- ⑤ 第4例会の参加には別途参加費を頂戴いたします。
受け入れ先の同業者の方には参加をご遠慮いただく場合があります。

注意事項

下記事項を確認、同意の上、お申込みをお願いします。

- ① 講師の都合などの事情により、日程・時間・内容並びに開催形態の変更・参加の制限をさせていただきます場合がございます。ご了承ください。
- ② 講演の録画、録音、配布資料記載事項の無断転載、オンライン参加の場合は画面撮影、画面キャプチャー、SNSなどへの掲載を固くお断りいたします。その様な行為が発覚いたしました場合、事務局より削除を要請し、損害賠償を請求させていただきます。
- ③ (オンラインの場合) 当方に起因しないシステムトラブルにより画像・音声に乱れが生じた場合については、再送信や返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ④ 登録者並びに代理参加以外のご参加はご遠慮願います。(オンラインの場合、視聴URL等は参加されるご本人のみ有効です。第三者への転送はご遠慮ください。)
- ⑤ 本注意事項については、代理参加となった場合は、代理参加者に自動的に適用されます。

お問い合わせ先

一般財団法人 中部生産性本部 《<https://www.cpc.or.jp/cpc/>》

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階
TEL (052) 221-1261 FAX (052) 221-1265

●担当 / 羽広・堤・稲場